

# 症例1

## 質問10～12の解説

### 質問10

ICTとして主治医に伝える内容で、  
重要なことはどれですか？

（印記入、複数回答可）

- （ ）バンコマイシン血中濃度測定  
（TDM）実施
- （ ）抗菌薬副作用の種類と監視について
- （ ）心臓雜音の有無
- （ ）疼痛の有無
- （ ）神経症状の有無
- （ ）呼吸器症状の有無

## 質問11

何がおこったのでしょうか。

# 化膿性脊椎炎

MRIで変化が見られた部位の  
穿刺吸引細菌検査で回収された壞死物質の  
培養より血液培養で得られた同じ感受性の  
*Enterobacter cloacae* が検出された。  
この時点で主治医はカルバペネム系を  
再治療薬として選択した。

6週間治療をおこない、化膿性脊椎炎は治癒し  
それ以後再発はみられなかった。

# 敗血症の合併症

感染性心内膜炎

化膿性脊椎炎

脳膿瘍・脳梗塞

肺化膿症・細菌性肺塞栓症

腸腰筋膿瘍

眼内炎(真菌) など

## 細菌性心内膜炎



足・手指末端の結節(オスラー結節)



結膜溢血班

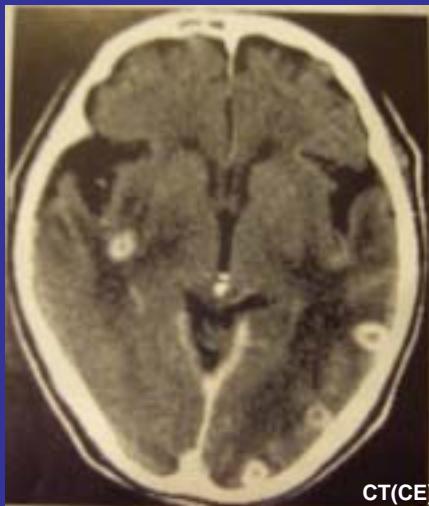


## 腸腰筋膿瘍

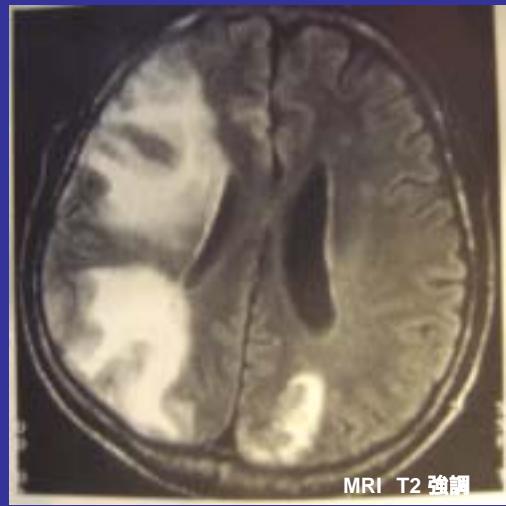


(<http://www006.upp.so-net.jp/coral920/psoas.html>より引用)

## 感染性心内膜炎に伴う脳膿瘍・塞栓症



脳膿瘍



脳塞栓症

(Heart View.5:50-55,2001)

質問12

血液培養で菌が検出された場合の治療期間

血管内にカテーテルが存在すればすぐに抜去

CNS ..... 5 ~ 7 日間

黄色ブドウ球菌 ..... 14 日間

グラム陰性桿菌 ..... 10 ~ 14 日間

カンジダ属 ..... 血液培養陰性化後、14 日間

必ず眼科受診して眼底チェック

心・肺・肝・腸腰筋の感染巣 ..... 4 ~ 6 週間

骨髄の感染巣 ..... 6 ~ 8 週間

(参考: Guidelines for the management of intravascular catheter-related infections.Clin Infect Dis 2001;32:1249-72 一部改変)